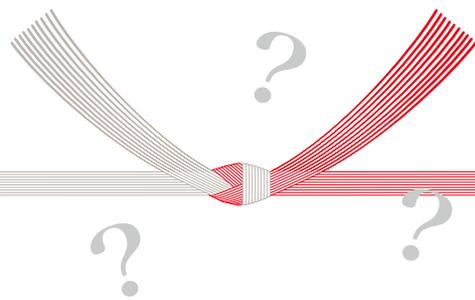


# 「結婚式」に関するQ&A



**Q.** 挙式の日取りも決まり招待状も発送した後に、「身内に不幸が出た場合」はどうすればよいのですか？

**A.** 通常、父母や兄弟姉妹に不幸があった場合は、向こう1年を喪中として一切のお祝いごとを控えるのが習わしですが、招待される側を初めとする周囲の関係者に迷惑を掛けたり、式場・披露宴会場や旅行会社のキャンセルなどいろいろと問題も多いことから、招待状まで発送している場合は予定通り挙式をすすめることが多いようです。  
気が滅入って結婚式などとても挙げられないということもあるはずですから、その場合は身内の方や極親しい方などに相談して、状況が許せば挙式を延期することも止むを得ないのではないのでしょうか。

**Q.** 結婚式のご招待を断るのはタブーとされているようですが、「どうしても都合が付かず出席できない場合」はどうすればいいですか？

**A.** 招待状の返信に「誠に申し訳ありませんが」と断った上で、当日出席出来ない理由を付記するようにします。  
特に親しい方や気になる方には、返信とは別に電話にて丁寧に出席できない由を連絡の方がよいでしょう。

**Q.** お祝いの贈答物の「種類や個数においてタブーとされるもの」があると聞きましたが、どのようなことに注意すればいいのですか？

**A.** 「別れる」「切れる」「割れる」「壊れる」などというものに通じるものは忌み嫌われるものとされ、ガラス製品・陶器製品・はさみ・包丁などの類は避けた方がよいとされています。また数点がセットになったものを贈る場合でも、お祝い金の場合と同様に「四つ・六つ・九つ」など、「死」「ろくでなし」「苦」に通じるものは避けた方が無難といえます。



**Q.** 結婚式のお祝いに使う金封に付属している短冊、「寿」「御結婚御祝い」どちらを使えばいいのですか？

**A.** 結婚式のお祝いにて使用する短冊の献辞（上書き）は、「寿」「御結婚御祝い」のどちらを使ってもかまいません。  
地区によってこととなりますが、主に関東方面（東）では「寿」、関西方面（西）は「御結婚御祝い」を使用する風潮があります。

**Q.** お祝い金を包むのし袋（金封）の値段は、いくらかの物を購入したらいいのですか？

**A.** のし袋（金封）の価格は、中に入れる金額の1～2%が目安となるものを選びましょう。  
お祝い金が3万円であれば300円から600円程度の袋がよいでしょう。



**Q.** 披露宴に出席する場合と、出席しない場合の御祝い金額の目安は？

**A.**

贈り先	披露宴に出席する場合						披露宴に出席しない場合					
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	関東	関西	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	関東	関西
勤務先の同僚	30,000	30,000	※	20,000	30,000	30,000	2)	5,000	5,000	※	5,000	10,000
勤務先の部下	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	3)	5,000	5,000	10,000	20,000	5,000
兄弟・姉妹	100,000	100,000	※	※	30,000	100,000	4)	10,000	※	※	30,000	10,000
甥・姪	—	50,000	100,000	10,000	50,000	100,000	友人・知人	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
いとこ	30,000	30,000	30,000	※	30,000	30,000						
友人・知人	30,000	30,000	1)	30,000	30,000	30,000						

1) 20,000・30,000 2) 5,000・5,001～9,999・10,000 3) 5,000・10,000 4) 10,000・30,000 —は該当サンプルがないもの ※はサンプル数が少ないためクロス集計していません。  
参考資料：旧三和銀行ホームコンサルタント 調査レポート「金銭から見たおつきあい調査」